

屋比久躍動 V8導く

興南(男子)ハンドV陽明(女子)

技と巧みさで圧倒

興南が王者の貫禄を見せつけ、8連覇で全国への切符を手にした。序盤から左45度のエース比嘉成希に厳しいマークがつく中、けがを抱えたまま出場した右翼の屋比久浩之が光った。サイドからゴール前に飛び込んで放つブロンシヨシユートで存在感をアピール。持ち前の跳躍力で相手守備の頭上から角度をつけて打つシャンブシユートも連続で成功させ、普段は厳しい黒島宣昭監督に「今日は(調子がいいぞ)」と言われた。

一方、チームの持ち味である攻守の切り替えの速い展開は不発だった。前半は浮き足立ち、パスミスも目立った。相手の厚い守備にポストもうまく機能せず、黒島監督も「攻撃パターンが少ない」と淡い表情を見せた。それでも徐々に点差は開き、最終的には15点の大差をつけ頂点に立った。2年生で活躍を見せた屋比久は「先輩たちの足を引っ張らないように自分からリードしていった」と話した。

「厳しくつかれたマークへの対応ができなかった」と振り返る比嘉。「苦しい試合ばかりになると思うが、気を引き締めて全国制覇を目指す」と大舞台に照準を合わせた。

ハイライト



女子決勝 陽明-那覇西 後半、激しい相手守備を振り切りシュートする陽明の又吉春花(左5日、沖縄市体育館委原晶子撮影)

熱闘輝く青春

「やればできる」
ハンドボール女子決勝、リードを許し後半にタイムアウトを取った那覇西の下地保監督(中央)と選手ら「まだ時間はある、やればできる」とチームを勇気付けた



応援でチームを鼓舞
ハンドボール男子決勝、慣例の応援合戦でチームを鼓舞するコサンワビー部の狩俣寛也。「頑張って優勝してほしい」と気持ちを込めて応援した

県高校総体 2012

○：強豪同士の対決となった女子決勝は、陽明が巧みなパスワークでライバルの那覇西を手玉に取った。中でも主将又吉春花と山内凜が要所で存在感を発揮した。

序盤から又吉を中心に、体の後ろを通すパスなどでつなく技術の高さでリズムに乗った。山内が角度のないサイドからの難しいシュートを決めれば、又吉も負けじとロングシュートで相手を圧倒した。

主将が「課題だった」と話す守備もうまく機能した。パスカットから速攻で得点するパターンも決まり、後半では相手に傾きかけていた流れも取り戻した。

又吉は「手の内はほとんど知られていたので、精度を上げて1点を確実に取りに行った」と話した。山内は「楽しかった」と笑顔で試合を振り返り「3月の選抜大会で果たせなかった全国制覇を目指す」と意気込んだ。

★ハンドボール

陽明	30	1416	1010	20	那覇西
興南	35	1817	713	20	コザ

男子決勝 興南-コザ 前半、シュートを放つ興南の屋比久浩之=5日、沖縄市体育館(委原晶子撮影)